

※視界不良時は・・・ 「見えない先には、何かがある」

- ★視界不良時には、**見えない先に低速車や駐停車車両、歩行者**など何があってもおかしくありません
ハザード点灯し、安全な場所に退避して様子を見ることも必要です
- ★吹雪の時には、**相手もこちらが見えにくい**のです
普段から、「**デイ・ライト**」の点灯

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」
◆**左折時は、死角**を認識し、安全確認
◆**右折時は、対向車**だけでなく、**横断歩行者**にも注意

天気大荒れ **猛吹雪**で、各地で**多重衝突事故**

2015年1月7日(水)18時14分

急速に発達した低気圧の影響により、**北海道などで猛吹雪**が発生した。

視界がきかなくなった道路では、**衝突事故**も相次いだ。

青森市内の国道沿いは真っ白で、**道があるのもわからない**ような状態で、対向車も、通り過ぎる直前まで、**車が走っているのがわからない**ような状態になっていた。

青森市では7日朝、激しい風と雪で、視界が一面真っ白になる、いわゆる「**ホワイトアウト**」の状態になった。

この雪で、黒石市ではトラックと乗用車による**追突事故**が起こった。

追突してしまったトラックは、フロント部分が完全に押しつぶされているような状態になっていた。

午前8時半ごろ、東北自動車道下り線で、トラックや乗用車など少なくとも5台がからむ**玉突き事故**が発生した。

事故に巻き込まれた人は、「このままだと、前の車にぶつかってしまうと思い、とっさに**右に逃げて、なんとかぶつからず止まった**。そうしたら、後ろから次々と…」と話した。

この事故で、4人がけがをし、そのうち1人は、一時車の中に閉じ込められたが、いずれも軽傷だという。

一方、北海道では、6日夜から道南の日本海側を中心に非常に強い風が吹き、日高地方のえりも岬では、午後3時46分に、最大瞬間風速41.9メートルを記録した。

小樽市でも、午後2時前に**22.8メートル**を観測するなど、各地で断続的に吹雪となった。正午をすぎたあたりから、小樽はかなり風が強くなってきて、雪の降り方も激しくなってきた。

海上保安庁の船も、右に左に大きく船体が揺れていて、風の強さをうかがわせていた。地元の人は、「すごい! ことしは去年と全然違う。ことしは多い。またきょう降ってきたもの」、「**ことしは異常だ。こんなことはないです**」などと話した。

新千歳空港から留萌市に向かっていたキャスターも、激しい吹雪に遭遇した。

全く前が見えなくなってきて、**対向車線から車が来ているのかもわからない**ぐらいだった。

走行中、**フロントガラスから見える外の風景は一面真っ白**に。

ホワイトアウト状態となった、この深川留萌自動車道では、午前11時半ごろ、**タンクローリーや自衛隊の車両トラック**など、**車4台がからむ多重衝突事故**が発生した。

この事故の影響で、激しい雪の中、車数十台が2時間にわたって立ち往生した。

日本海側を中心に、大荒れとなった北海道。

午後3時、北海道・留萌市はふぶいていて、雪が顔に強く当たり、目を開けられない状況が続いていた。

気象庁は、引き続き、北日本の日本海側を中心に、**8日の朝まで猛吹雪や暴風・大雪による交通障害などに警戒**を呼びかけている。